

## アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図

### マタイの福音書 1章1節

聖書を初めて読む人にとって、マタイの福音書のイエスの系図は無味乾燥で退屈なカタカナの連続。これは、読む人の気持ちを抱いてしまうかもしれません。しかし、このなかに新約聖書理解の前提となる旧約聖書の大切なポイントがちりばめられているのです。新約聖書理解には、旧約聖書の初歩的知識が欠かせません。ですから、今日はまず、この系図の意味を考えてみたいと思います。

第一にこの系図は、イエスが救い主であること、(メシア＝キリスト)であることを示

すものです。言い換えれば、旧約聖書の預言の成就なのです。旧約で預言された救い主(メシア)は、このイエス・キリストであると宣言なのです。

第二にこの系図は、イエスが真の神であると同時に、真に人である、という意味があるのです。イエスとは、当時一般に用いられていた人の名前です。「アブラハムの子、ダビデの子」といわれているのは、人間であるという意味です。人として人間の世界に入ってこられたのがイエスです。マタイは、イエスが罪人の救い主として人間の世界に入

ってこられたことをこの系図で示しているのです。キリスト教の中心のテーマは、イエス・キリストがまことの神であり、且つまことの人であるからこそ、救い主なのです。

第三に系図には、思いがけない始まりと広がりがあります。この系図には、この中に入っていて良いのだろうか?と思われるような人物が記されています。それは、思いがけない人も、神の祝福の流れに入れられていることの証です。まさに、神の驚くべき恵みであるといえましょう。「信仰」という条件を果たすならば、みな、神の祝福の系図、信仰の系図に加えられるのです。そして、私達もこの系図に加えられるのです。

■報告 消息

・礼拝堂の中央通路床面工事

礼拝堂の中央通路床面の一部が損傷し補修が必要となりました。26日午後には若月伊兄、金城兄が対応してくださいました。しかし、思いのほか手が掛かることが判明し、現在は補修作業の途中となつています。作業中の箇所には応急手当がされています。通行の際には段差にお気をつけください。

・7月19日 礼拝出席者数 報告

(重複出席者数は除いています)

第1礼拝 21名

第2礼拝 43名

小学科礼拝 小3名 中高2名

■支援献金募集 九州南部等豪雨災害

東北でも河川の氾濫、浸水被害がありました。この夏も、まだまだ大雨とそれに伴う水害が懸念されます。すでに被災した地域、被災者の方々を覚えて祈りましょう。また、これから台風シーズンを迎える日本各地のためが守られるようにも祈りましょう。

■礼拝説教箇所「マタイの福音書」

伝統的には、十二弟子のひとりマタイによつて書かれたといわれます。新約聖書の冒頭に置かれ、旧約聖書の時代からキリストに至る系図で書き始められており、第一の読者としてユダヤ人が念頭にあつて書かれたといわれます。

5つの大きな説教が柱となつて構成され、たとえ話も豊富に含まれています。

「天の御国」「ダビデの子」という表現が特徴的に使われています。

全体のテーマとして「王であるキリスト」が書かれています。

■8月の礼拝説教箇所と説教者

2日 マタイの福音書① 石田牧師

9日 マタイの福音書② 石田牧師

16日 マタイの福音書③ 荻野牧師

23日 ヨエル書 いつ子牧師

30日 ハガイ書 石田牧師

■教会メールアドレス

zion@am.wakwak.com

メールには必ずお名前をご記入ください